

畧の以ハ砂名僅ム——て山の字の筆畫ハ似  
 くり九月上旬ハ其上ハ初雪を載山一斤  
 ハ白——壳を著ふハ山上ニ墨毛ナ——に  
 て表口の尻尻を配の地ナリに月八日山上  
 を焼大蛇の流出——河筋ハ坐程郡ム——て  
 其源子蔵リ谷ナリ流出ナリ海口トハ三  
 森川ナリ——元文又年又月上旬ム山  
 の内強穢毒ハ初石硫黄谷とし——とハ東西ニ  
 石炭南ハ八十石初焼——一五年の石煙氣  
 立々ハ事一斤の雲レ——とく山上ハ焼拔

大なる穴出たり硫黄燐の氣出程川へ流  
入に五十年の間川筋に災難を見すけ流を  
引て用水と——も田地の地毛を害——と表  
川の海は海藻もなく海色の石皆白く  
ぬき人の志も事なれハ詳小記をに及す  
著ハト異なり龜ハ甲を火は焼て占せも更  
とを汚其山水田とは吹浦村より登れハ馬  
の海の手前に水田とて僅の田畝二三牧草の  
中にありふくく人の住（き）地な——ハ耕  
作の事ありふくくありふく——五穀の盡すけ